

人材システム改革構想・概要

- 提案構想名 「先進融合領域フロンティアプログラム」
○総括責任者名 「総長 吉本 高志」
○提案機関名 「国立大学法人 東北大学」

機関の現状

本学は、「研究中心大学」として、世界の研究・教育拠点大学そして国際競争力のある総合大学を目指している。その中でも「21世紀COEプログラム」の13拠点での若手研究者育成活動成果を基盤として、さらに世界トップレベルの若手研究者養成を目指すための、国際高等研究教育院を平成18年4月より学内措置として設置した。また研究のアクティビティの一つの尺度であるISI社の論文被引用数による本学のランキングは、全分野では世界第72位であるが、特に、材料科学は第2位、物理学は第13位、化学は第22位、工学は第38位にランクされている。今回のプログラムでモデル部局（専攻）の一つとなる工学研究科機械系での先行的なテニュアトラック制度の導入、総長裁量経費や部局長裁量経費による若手研究者萌芽研究支援プログラムの実施、ノーベル賞受賞者を招聘したユニバーシティプロフェッサー制度による若手研究者との交流の機会の提供など、多様な若手研究者自立支援を行っているところである。

人材システム改革構想

本プログラムでは、工学系、ライフサイエンス系、医工学系の部局をテニュアトラック推進モデル部局として設定し、工学とライフサイエンスなどの融合分野において、国際的な競争環境下で世界的なレベルで先端領域の開拓ができる人材を育成する。研究担当理事及び人事担当理事のもとにテニュアトラックプログラム推進室を設置し、米国代表事務所等の協力を得て、国際公募によりテニュアトラック教員を公募する。本プログラムを、全学における若手研究者自立研究環境促進プログラムのパイロット事業と位置づけ、プログラム終了後に全学におけるテニュアトラック制度の普及を目指す。若手研究者の育成において、異分野との学際的融合による新分野の創成をつよく意識させるため、プログラムオフィサー及びシニアメンターを配置して、広い視野を持った研究者育成を支援する。東北大学全体の人事制度は、担当理事を中心に現在検討中であるが、学問分野に応じた多様な人事システムのなかで、複数のキャリアパスにより、若手研究者が競争的環境で将来を見据えた研究が可能な自立的研究環境を整備する。

人材システム改革における達成目標（ミッションステートメント）

（1）中間時の達成目標

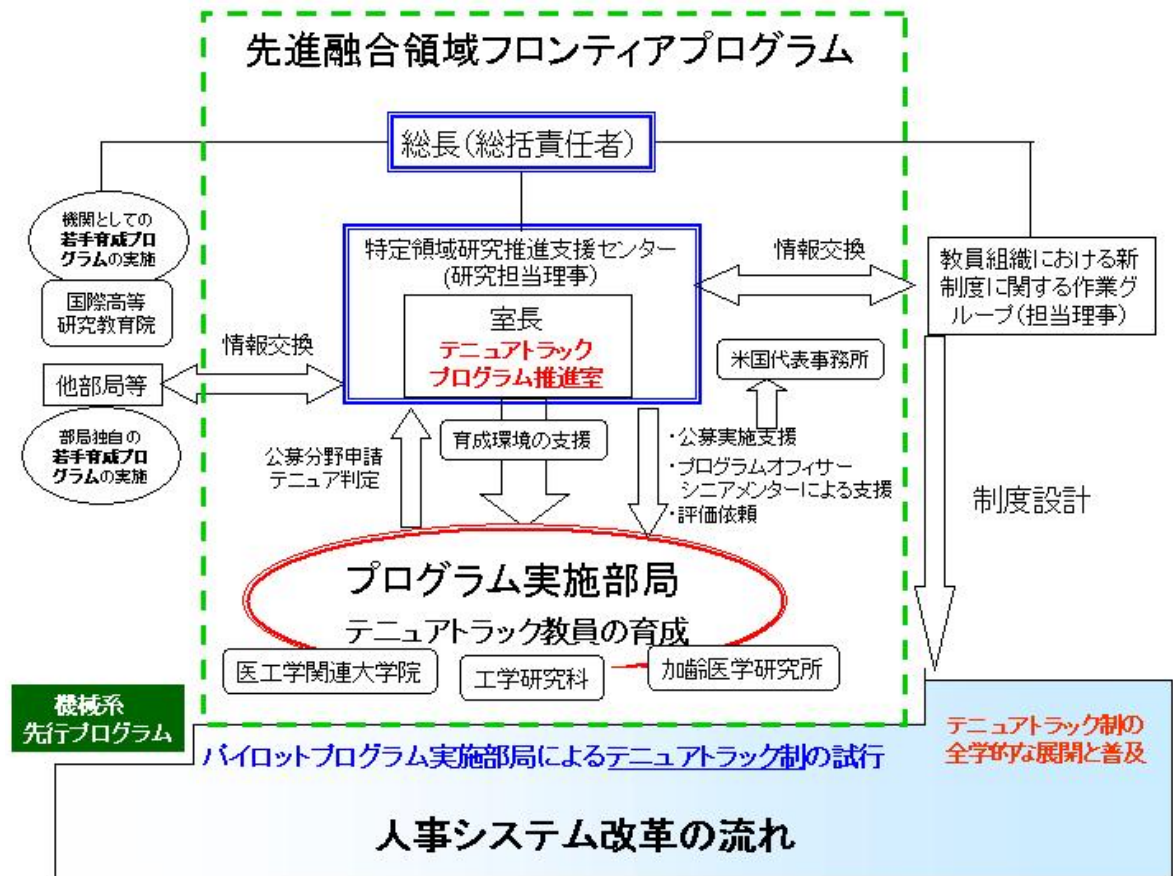
- ・ 若手研究者の自立的研究環境の整備として、独立して研究推進が可能な研究スペース（約1500m²）を確保し、基盤となる共通の試験設備を導入する。
- ・ 総長裁量経費等により、任用されたテニュアトラック教員に対してスタートアップ資金として初年度に各1000万円を支援する。
- ・ 国際公募によるテニュアトラック教員10名の採用
- ・ プログラムオフィサー1名の雇用と、シニアメンター10名の指名
- ・ ポスドク等の人的支援制度及び主な研究設備の整備の完了
- ・ 2回のシンポジウム開催
- ・ モデル部局（専攻）における継続的なテニュアトラック制度の実態把握および検討完了
- ・ 実施プログラムの問題点の抽出と中間報告書の作成
- ・ 全学的なテニュアトラック制度の検討終了

（2）終了時の達成目標

- ・ テニュアトラック教員の審査大綱の作成
- ・ テニュアトラック教員の評価手法の確立と、審査によるテニュア教員への任用
- ・ 最終成果報告会（国際シンポジウム開催）
- ・ モデル部局（専攻）での継続的なテニュアトラック制度の構築と実施
- ・ 実施プログラムの問題点の抽出と改善案の提示
- ・ 全学的なテニュアトラック制度の普及促進

実施体制

- **統括責任者 総長**
- **テニュアトラックプログラム推進室**
 室長: 研究担当理事
プログラムの一元的管理
 - 公募領域の設定と支援
 - 育成環境の整備と維持
 - テニュア教員の審査大綱
- **プログラム実施部局**
 所属教員
 - テニュアトラック教員の公募・採用・育成・審査
 - テニュア教員への任用
- **新人事制度設計WG (連携)**
全学的人事制度の設計
 中期計画担当理事
 人事担当理事



研究領域: ライフサイエンス、先進ものづくり、医工学

「先進融合領域フロンティアプログラム」

人材システム改革構想(実施内容)

目的

新たな研究領域の創出を促進する自立的研究環境の提供と
大学における先進融合領域研究のフロンティアを担う人材育成

若手研究者を**テニュアトラック**教員ポストで任用
モデル部局によるパイロットプログラム

努力の成果がさらなる
挑戦を可能とする安定
ポストを保障する

- 本学の**米国代表事務所**(平成18年5月設置)等
やインターネット、学術誌公募等による**国際公募の実施**
- **テニュアトラックプログラム推進室**による
一元的管理運営体制の構築
- **プログラムオフィサーとシニアメンター**による継続
的な育成環境の維持とエンカレッジメント
- **テニュア判定審査委員会**による
厳格な評価と審査(評価・審査方法の検討)

・パイロットプログラムの評価
・全学組織への普及・伝播

